東京都低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器認定委員会（令和７年度第５回）議事録

１　日時　　令和８年３月１９日　　午前１０時００分から午前１１時１０分まで

２　場所　　ＷＥＢによるオンライン会議

３　出席者

（委　員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

（東京都）名取課長、足立課長代理、池上主事

４　議題

（１）低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器認定申請の状況

（２）低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器の認定審査

（３）その他

５　議事

○足立課長代理　それでは、ただいまから令和７年度第５回東京都低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議進行について委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行を務めます、事務局の東京都環境局環境改善部大気保全課大気担当の足立でございます。

本日は、委員の皆様全員に出席いただいております。

さて、議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。

この会議は、低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第７の規定に基づきまして、公開いたします。ただし、議事（３）の低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第７条第３号に係る案件となりますので、非公開といたします。

本日、傍聴者の方がいらっしゃいますので、議事（３）に入る前にご退室いただきます。ご了承ください。

また、同要領第８の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第７条各号に掲

げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より一言ご挨拶させていただきます。

○名取課長　委員の皆様、おはようございます。傍聴の方もおはようございます。

本日は、年度末のお忙しい中、低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今回は、今年度最後の認定委員会となります。今年度は、本日を含めて計５回の委員会を開催させていただきまして、その中で認定制度の改正なども行いまして、新たに水素を燃料とする冷温水発生機を認定対象に追加することができました。その結果、早速新たな機器の認定を行うこともできておりまして、それらも含めまして、今年度はこれまでに７件の認定機器を世に送り出すことができております。

また、本制度は平成20年度から現在の形で実施しておりますけれども、累計では、これまで、前回までの委員会までに829件の機器を認定してまいりました。委員の皆様におかれましては、毎回の委員会において１件１件、技術的、専門的な観点から丁寧にご議論いただきまして、誠にありがとうございます。改めて、感謝申し上げます。

さて、本日は、ボイラー１型式、それから冷温水発生機２型式の認定審査を予定しております。委員の皆様には、引き続き技術的、専門的観点からご議論を賜れましたら幸いでございます。本日も活発なご議論をどうぞよろしくお願いいたします。

○足立課長代理　続きまして、ウェブ会議の注意事項を３点申し上げます。

１つ目、一部の資料は、情報セキュリティー対策のため、画面には映写できません。別途郵送させていただいておりますので、そちらをご覧ください。

２点目、会議中は音声をミュートにしていただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言をお願いいたします。

３点目、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時、事務局までお知らせください。

それでは、これ以後の進行は津江委員長にお願いしたいと思います。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

○津江委員長　皆さん、おはようございます。年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本年度最後の委員会ということで、早速、議事に入らせていただきます。

まず、議事（１）の低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器認定の申請の状況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○池上主事　それでは、私のほうから、まず資料１についてご説明させていただきます。

こちらは画面のほうにも共有させていただきますので、少々お待ちください。

お待たせいたしました。

それでは、こちらの資料についてご説明させていただきたいと思います。

まずは、こちらの１、概要については、申請があった機器の代表型式数を示しております。今回は、小型ボイラー類から合計３代表型式の申請をいただいております。

内訳としましては、まず水素燃料の蒸気ボイラーで１機種、グレードＨＨとして申請がございます。

続いて、都市ガスを燃料とした冷温水発生機で２機種、グレードＡＡとして申請をいただいております。

続いて、２ページ目に移ります。

こちらは、ＮＯｘの削減方法について記載をしております。

まず、水素燃料の蒸気ボイラーについては、濃淡燃焼、自己再循環、火炎分割によってＮＯｘを低減するものとなっております。

ガス焚の冷温水発生機については２代表型式ございますが、いずれも自己再循環及び火炎分割によってＮＯｘ低減を図るものとなっております。

続いて、３ページ目になります。

$ＣＯ_2$の低減方式についてです。

蒸気ボイラーにつきましては、エコノマイザーの採用が主な効率向上対策となっておりまして、冷温水発生器については、ボイラー缶体の伝熱効率の向上と冷凍サイクルの最適化というところが主な効率向上対策となっております。

以上が、今回申請のあった３機種の申請概要となります。

○津江委員長　ありがとうございました。

何かお気づきの点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に移りたいと思いますが、議事（２）の低ＮＯｘ・低$ＣＯ_2$小規模燃焼機器の認定審査につきましては、非公開とさせていただきます。

（この間、認定審査のため、非公開）

○津江委員長　それでは、本日の議事は以上でございます。

事務局のほうに議事進行をお返しいたします。

○足立課長代理　ありがとうございました。

事務局からの連絡事項を池上よりご説明いたします。

○池上主事　１件、ご連絡させていただければと思います。

先日郵送いたしましたＣＤ－Ｒにつきましては、恐れ入りますが、３月24日までに事務局宛てにご返送をいただければと思います。返送時は、同封したレターパックをご使用ください。

連絡事項の説明は以上となります。

○足立課長代理　今年度の認定委員会は、今回で最後でございます。委員の皆様方におかれましては、来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、課長の名取よりご挨拶させていただきます。

○名取課長　今年度、最後の委員会となりますので、一言ご挨拶申し上げます。

冒頭にも申し上げましたとおり、委員の皆様のご協力によりまして、これまでも多くの機器を認定することができております。改めて、厚く御礼を申し上げます。

一方で、制度を運用していく中で、様々な課題も明らかになってきております。これらの課題につきましては真摯に受け止めまして、またメーカーやユーザーの意見も聞きながら、よりよい制度となるように引き続き改善に取り組んでまいりたいと思っております。

委員の皆様におかれましては、次年度以降も引き続きご協力を賜れましたら幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

以上となります。どうもありがとうございました。

○足立課長代理　来年度の認定委員会は、４回の開催を予定しております。開催日程につきましては、日程調整等、別途ご連絡させていただきます。

では、こちらをもちまして、令和７年度第５回認定委員会を終了させていただきます。

年度末のお忙しい中ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。来年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。